

経営改善計画書(令和5年度～令和7年度)

団体名	社会福祉法人 鳥取福祉会
-----	--------------

様式2

現状と課題	物価高騰や少子化、保育士・介護士不足など課題山積の中、いかに良質な福祉サービスを継続的に提供していくかが今後の課題となっています。
経営方針 (令和7年度目標)	全てのステークホルダー(地域の方々)から信頼される法人を目指します。

視点	7年度目標 (期間内の 最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント (経営改善効果)	市担当課コメント
			取組内容	目標値	取組状況	実績値		
経営改革 (財務面での長期見通し)	経営基盤の安定	5年度	サービス活動増減差額の確保	1%以上	保育士・介護職員への処遇改善の実施。	2.3%	厳しい物価高騰ではあったが、コロナが落ち着き稼働率が向上	多様な福祉サービスを提供し、本市の社会福祉、児童福祉において大きな役割を果たしていただいている。また、多様化するニーズに沿った事業展開を行っていただいており、市民サービス向上の効果も大きい。物価高騰の影響下でも、堅実な経営、事業運営を実施されており、引き続き健全経営に努めていただきたい。
					むつみ保育園を認定こども園へ移行。		したことから収益性が向上し収支差額が改善された。	
		6年度	サービス活動増減差額の確保	1%以上	保育士・介護職員への処遇改善の実施。	0.1%	物価高騰、少子化の影響を大きく受け、目標達成は出来なかった	
					かんろ保育園・わかば保育園を認定こども園へ移行。		が、2園の認定こども園への移行、処遇改善加算等による増収に	
							より、収支差額の黒字を維持できた。	
		7年度	サービス活動増減差額の確保	1%以上	保育士・介護職員への処遇改善の実施。	1.9%	少子化の影響、各施設の稼働率の低下があったが、2園の認定	
					松保保育園・津ノ井保育園を認定こども園へ移行。		こども園への移行、物価高騰対策応援金や処遇改善の補助金	
							等による増収により、目標値を達成できた。	
組織改革 (組織見直し、人材育成)	魅力ある職場づくり	5年度	職員満足度(働きやすい職場)	86.00%	休暇の取得促進、勤怠管理の徹底、時間外勤務の削減	83.7%	アンケート結果は目標には達しなかったが、男性育休の取得や	職員アンケートでの評価は目標達成とならなかったものの、声掛けなどにより男性育休取得率は100%となるなど、法人として働きやすい職場づくりに積極的に取り組まれている。引き続き設定された目標値を達成できるよう、職員の事務負担軽減や業務の効率化などに努めていただきたい。
			男性職員の育児休業取得率	15%	男性育休取得への促し	100.0%	有給休暇の取得など総合的に働きやすさの向上は実現できた。	
		6年度	職員満足度(働きやすい職場)	86.50%	時間外勤務の削減、休暇の取得促進、環境改善、介護ロボット導入	86.3%	アンケート結果に基づく業務の見直しや、各部会中心の職場環境	
			男性職員の育児休業取得率	15%	男性育休取得への促し	75.0%	の改善の取組の結果、大幅な時間外勤務の削減や職員満足度	
							の向上に繋がった。	
		7年度	職員満足度(働きやすい職場)	87.00%	時間外勤務の削減、休暇の取得促進、施設整備による業務の省略化	86.8%	アンケート結果に基づき、労務・職場環境改善を行い、	
			男性職員の育児休業取得率	15%	男性育休取得への促し	133.3%	実績値は向上したが、目標値は達成できなかった。	
公益増進 (顧客サービスの向上、社会貢献)	サービスの質の向上	5年度	(介護)サービスの充実	予算稼働率の達成	稼働率は未達のものも散見されたが、単価UPで収入は確保できた。	予算比98%	満足度や稼働率などの目標はほぼ達成、また制度やニーズの	物価高騰や新型コロナウイルス感染症の影響下においても、地域のニーズをしっかりと受け止めて、柔軟に対応されており、地域住民の福祉の増進、保育の充実を包括的に行っていただいている。引き続き、運営団体、支援団体、行政と協力、連携しながら公益的な事業の推進に努めていただきたい。
			(保育)利用者満足度の追求	満足度90%	ICTを活用して保護者との連絡体制の強化など	97.3%	変化に柔軟に対応でき、地域に根差した法人としての役割を	
							果たせている。	
		6年度	(介護)サービスの充実	予算稼働率の達成	定員変更、報酬単価増によりほぼ達成	予算比98%	補助金を活用した見守り支援システムの導入によりサービスの質	
			(保育)利用者満足度の追求	満足度90%	3歳以上児の完全給食実施、ホームページのリニューアル、SNSの活用	96.9%	の向上を図り、定員変更やSNSの活用等により利用者のニーズ	
							に対応出来た。	
		7年度	(介護)サービスの充実	予算稼働率の達成	施設整備、「買い物と運動」支援の新サービス	予算比97%	ロボットやICTを活用した施設・環境整備や新サービスにより	
			(保育)利用者満足度の追求	満足度90%	おむつのサブスク開始、施設・環境整備	97.1%	利用者満足度の上昇に繋がった。	